

図2-① 65歳男性の平均自立期間の推移(千葉県)

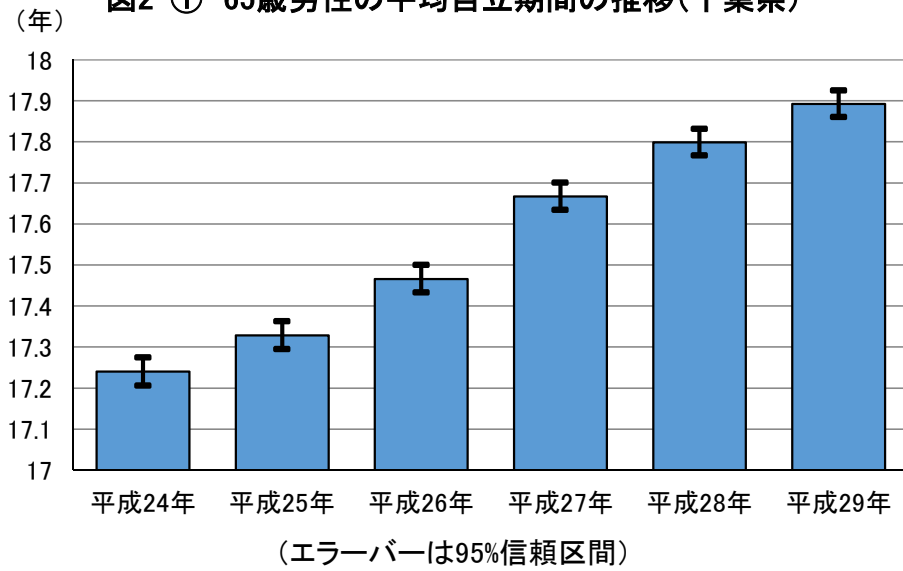


図2-② 75歳男性の平均自立期間の推移(千葉県)

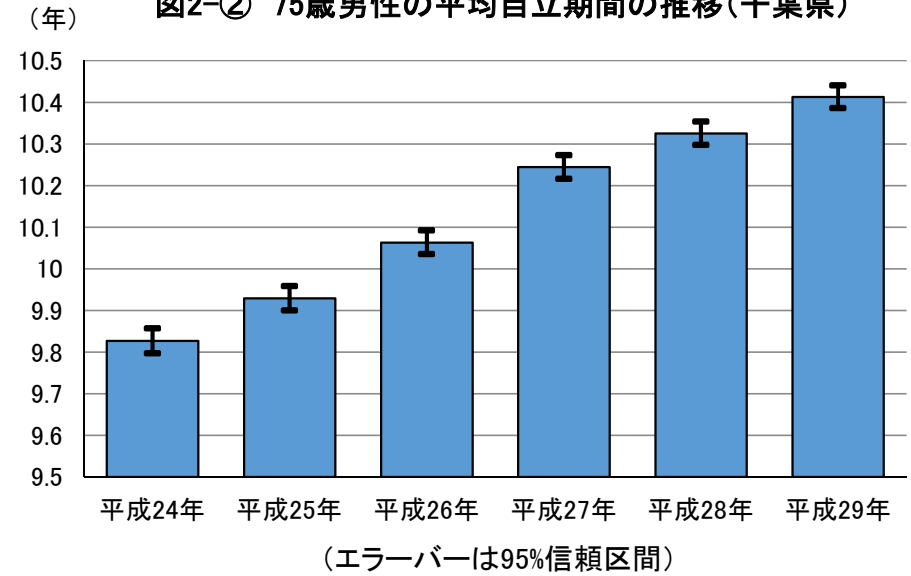


図3-① 65歳男性の平均要介護期間の推移(千葉県)

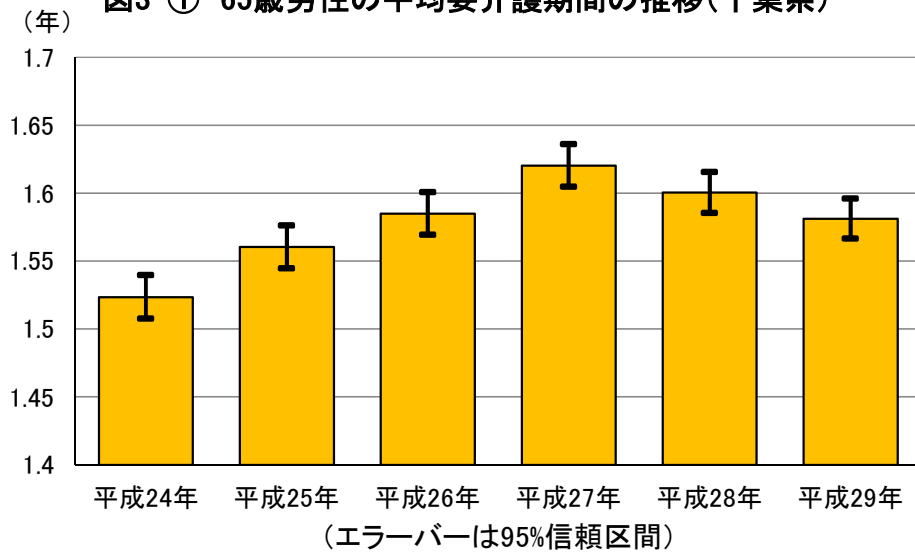


図3-② 75歳男性の平均要介護期間の推移(千葉県)

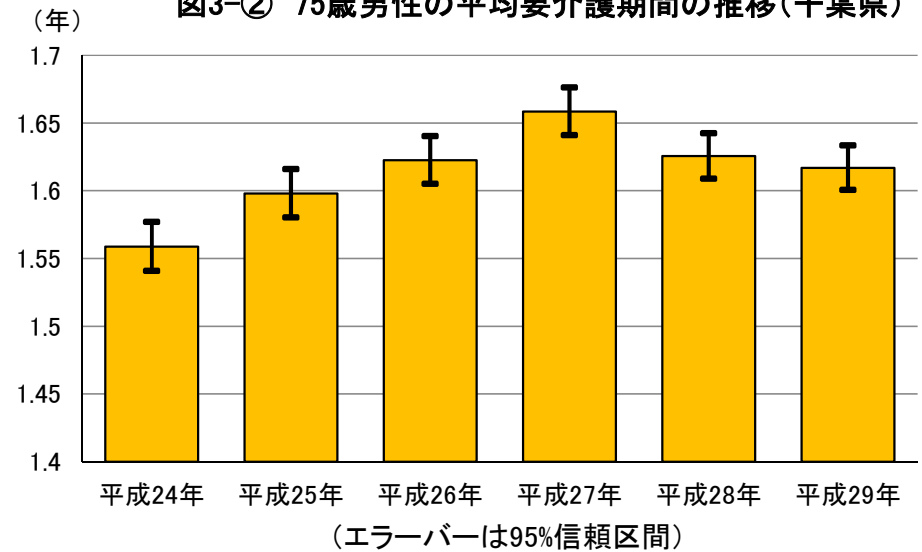


図2-③ 65歳女性の平均自立期間の推移(千葉県)

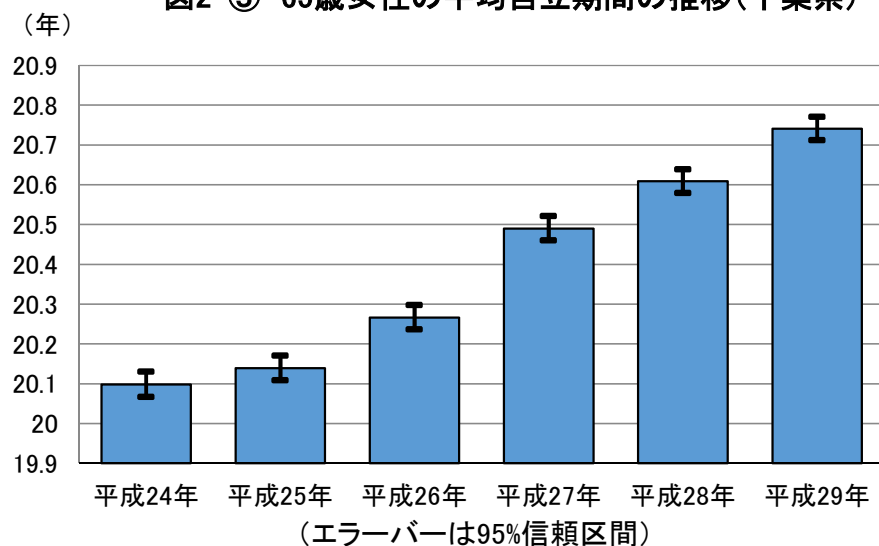


図2-④ 75歳女性の平均自立期間の推移(千葉県)

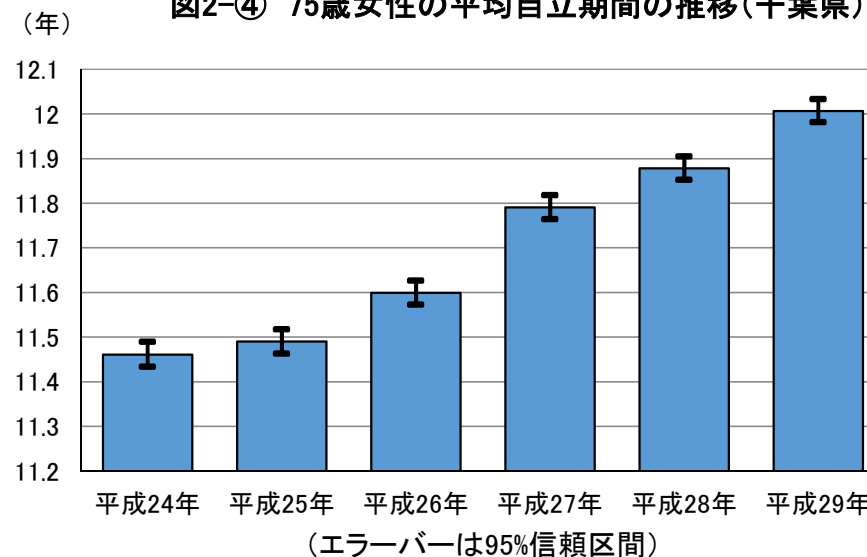


図3-③ 65歳女性の平均要介護期間の推移(千葉県)

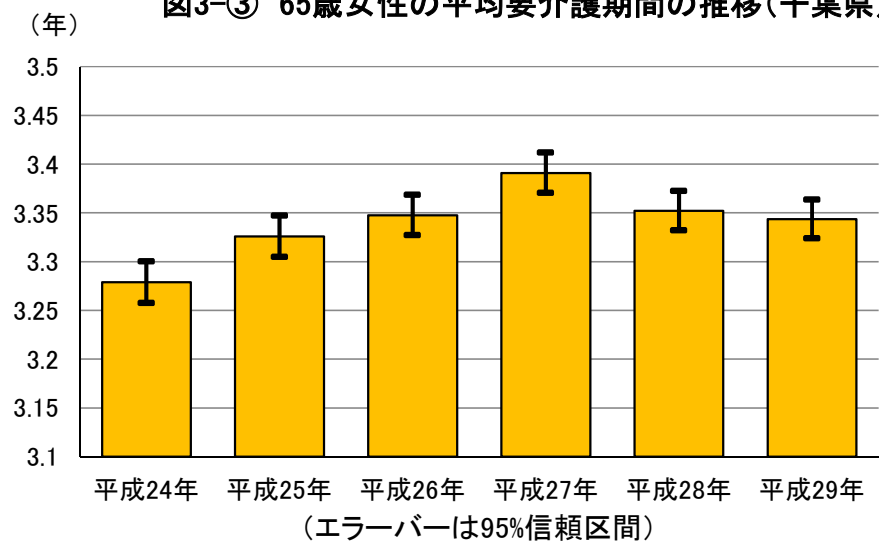


図3-④ 75歳女性の平均要介護期間の推移(千葉県)

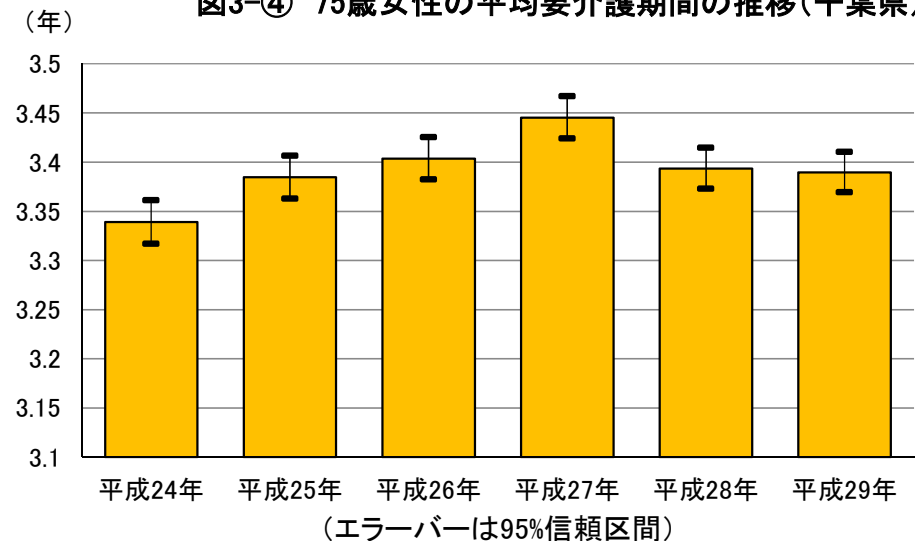


図4-① 平成24年～29年の平均自立期間と平均要介護期間(65歳)

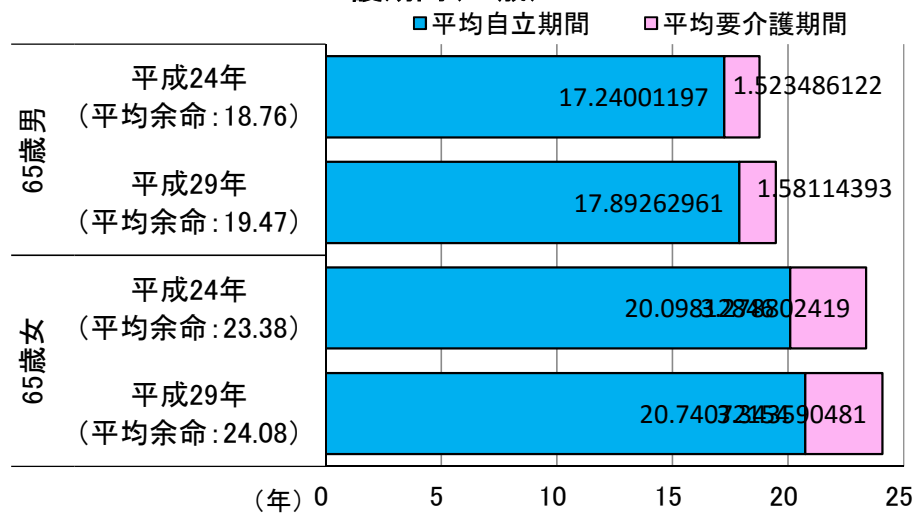


図4-② 平成24年～29年の平均自立期間と平均要介護期間(75歳)

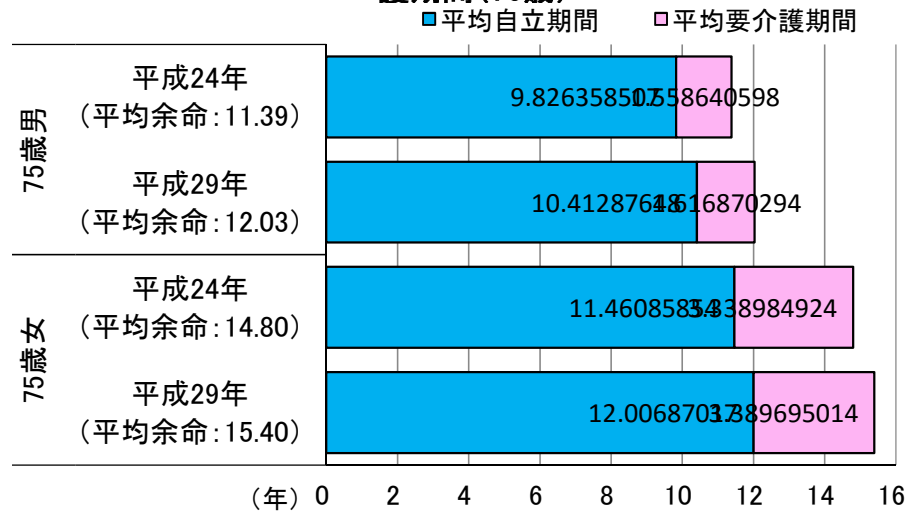


図5 平成24年～29年の平均自立期間と平均要介護期間の伸び

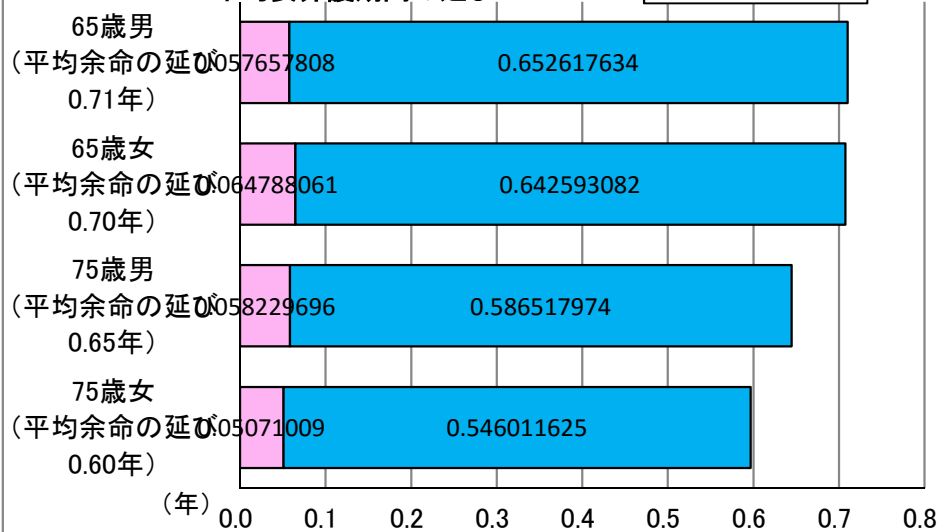
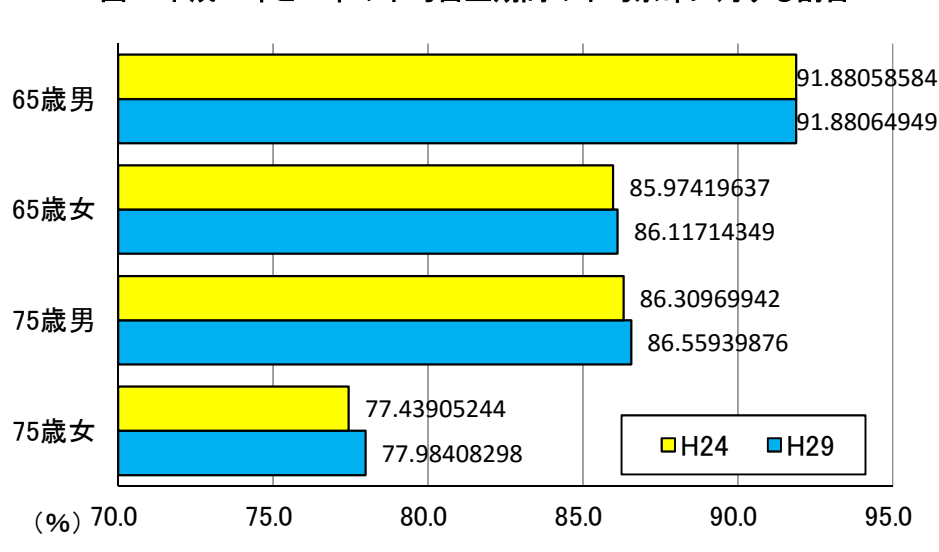


図6 平成24年と29年の平均自立期間の平均余命に対する割合



・平均自立期間の市町村間格差(最大値と最小値の差)を平成24年と平成29年で比較すると、格差が男性65歳では0.13年減少したが、75歳では0.11年増加した。女性では65歳で0.54年、75歳で0.87年減少した。平均要介護期間の市町村間格差は、男性は65歳は0.14年、75歳では0.17年増加した。女性は65歳は0.18年、75歳では0.19年減少した(表1、2、図1)。

・千葉県の平均余命・平均自立期間・平均要介護期間は、平成24年から29年の5年間で男女とも有意に延伸している。平均自立期間の伸びは男女とも平成26年～27年にかけて一番大きかった。平均要介護期間は平成27年～29年にかけて男女とも減少した(図2、3)。

・千葉県の5年間の平均自立期間の伸びの男女差は、65歳で0.01年、75歳で0.04年男性が大きかった。一方、5年間の平均要介護期間の伸びの男女差は、65歳は同じであったが、75歳では0.01年男性が大きかった(図4、5)。

・千葉県の5年間の平均余命の伸びに対する平均自立期間の伸びの割合を計算すると、男性は65歳91.9%、75歳91.0%、女性では65歳90.8%、75歳91.5%となり、男女とも平均余命の伸びは平均自立期間の伸びの寄与が大きかった(図5)。

・千葉県の平均余命に対する平均自立期間の割合を平成24年と平成29年で比較すると、男性は65歳は同じであったが、75歳は0.25%増加した。女性は65歳は0.15%、75歳は0.54%増加した(図6)。